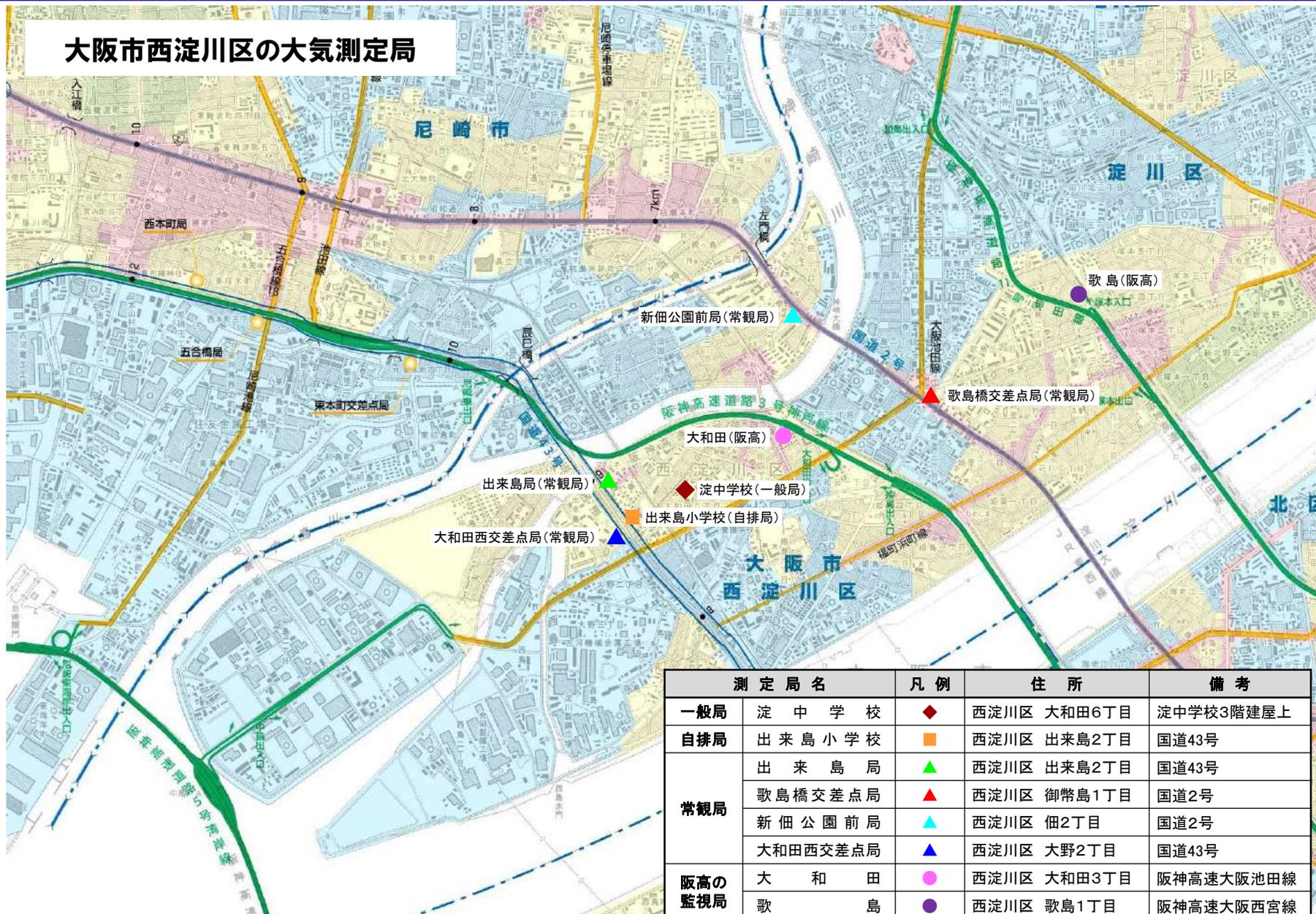


大阪市西淀川区 大気状況

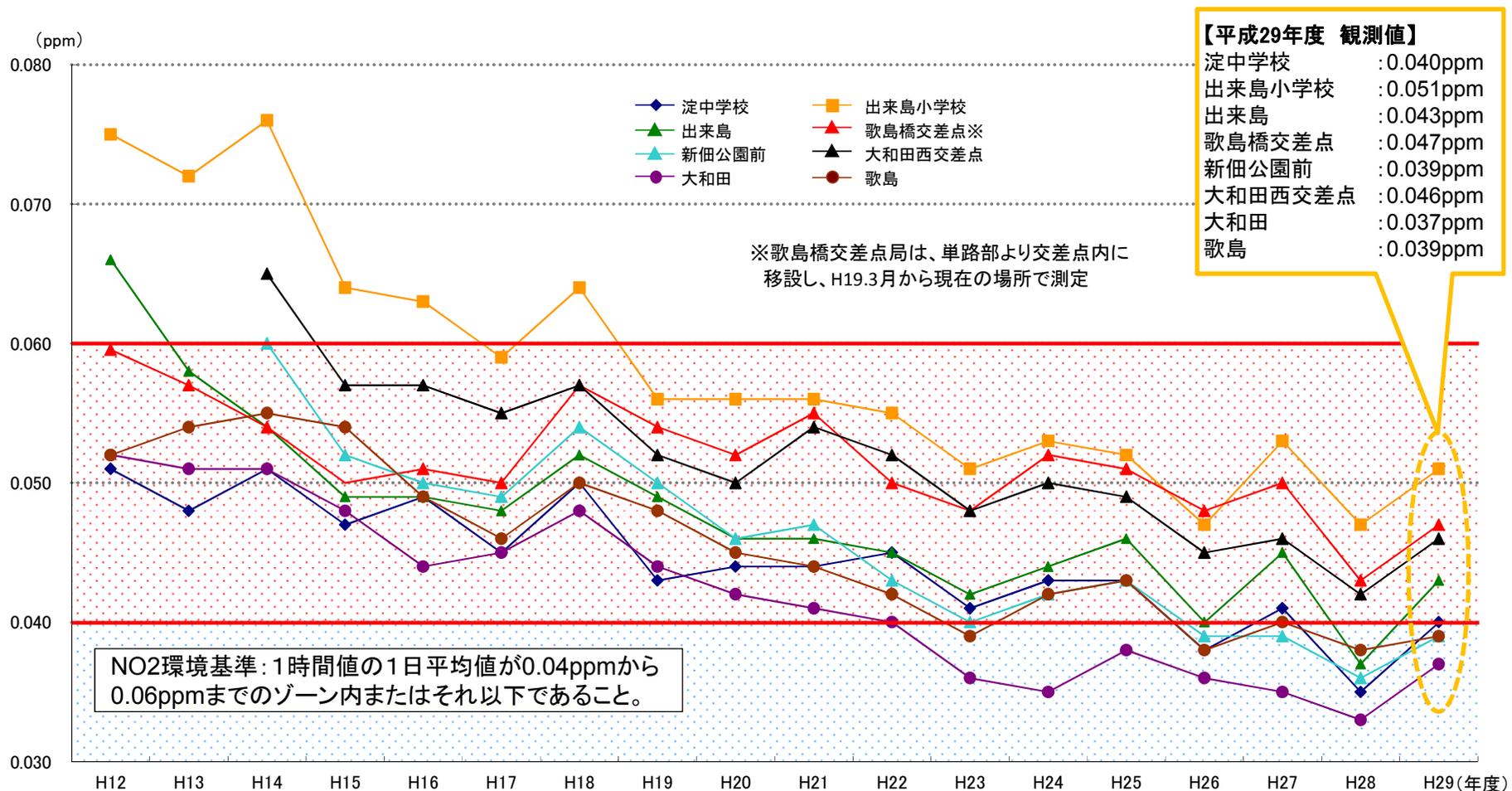
大阪市西淀川区の大気測定局



大阪市西淀川区 大気の状態（二酸化窒素）

・二酸化窒素(NO₂)の日平均値の年間98%は、平成19年度以降は全箇所環境基準のゾーン内に入っている。

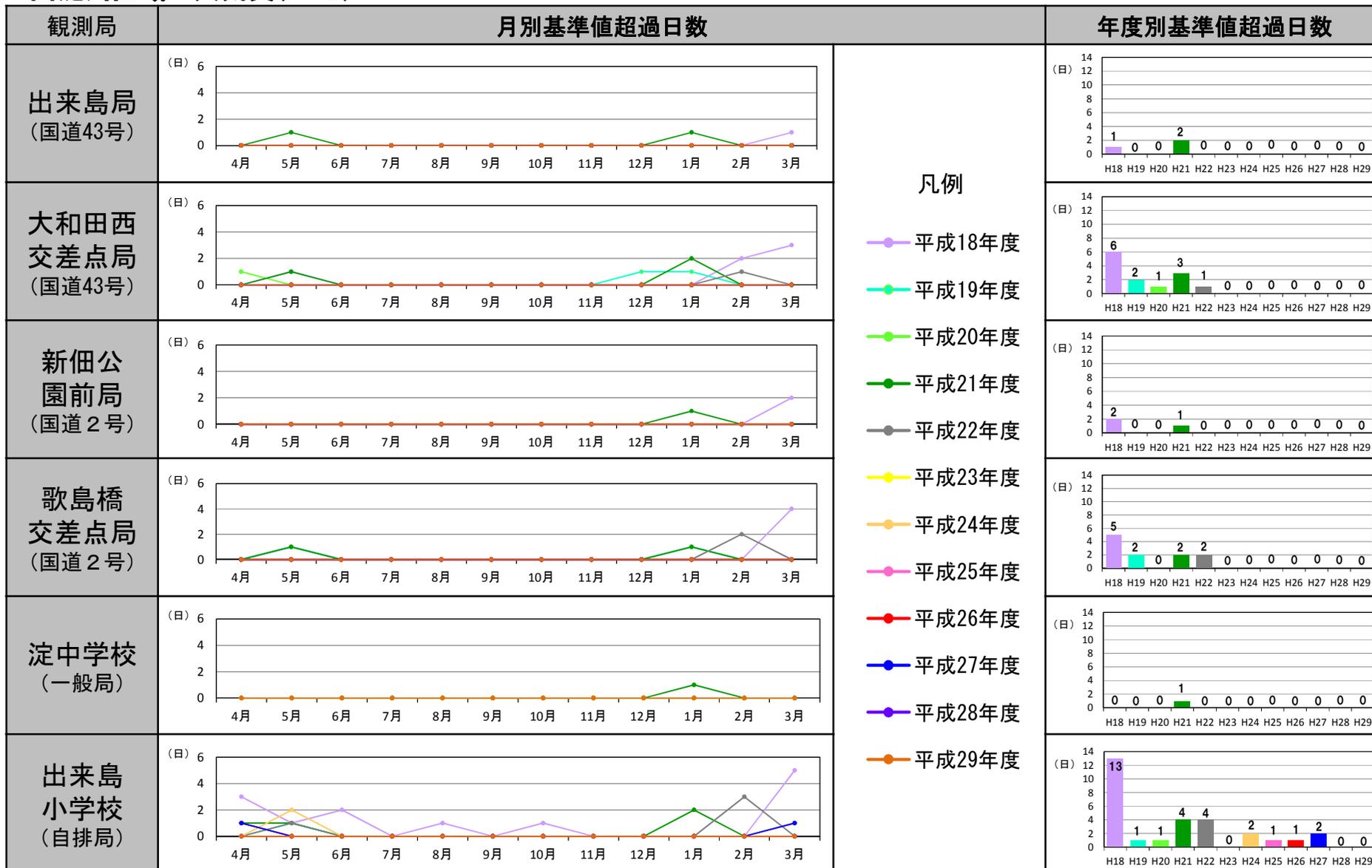
▼国道43号他 二酸化窒素(NO₂) 日平均値の年間98%値の経年変化



大阪市西淀川区 大気の状態（二酸化窒素）【環境基準超過日数】

・平成18年度以降、環境基準超過日は減少傾向であり、昨年度の超過日は0日であった。

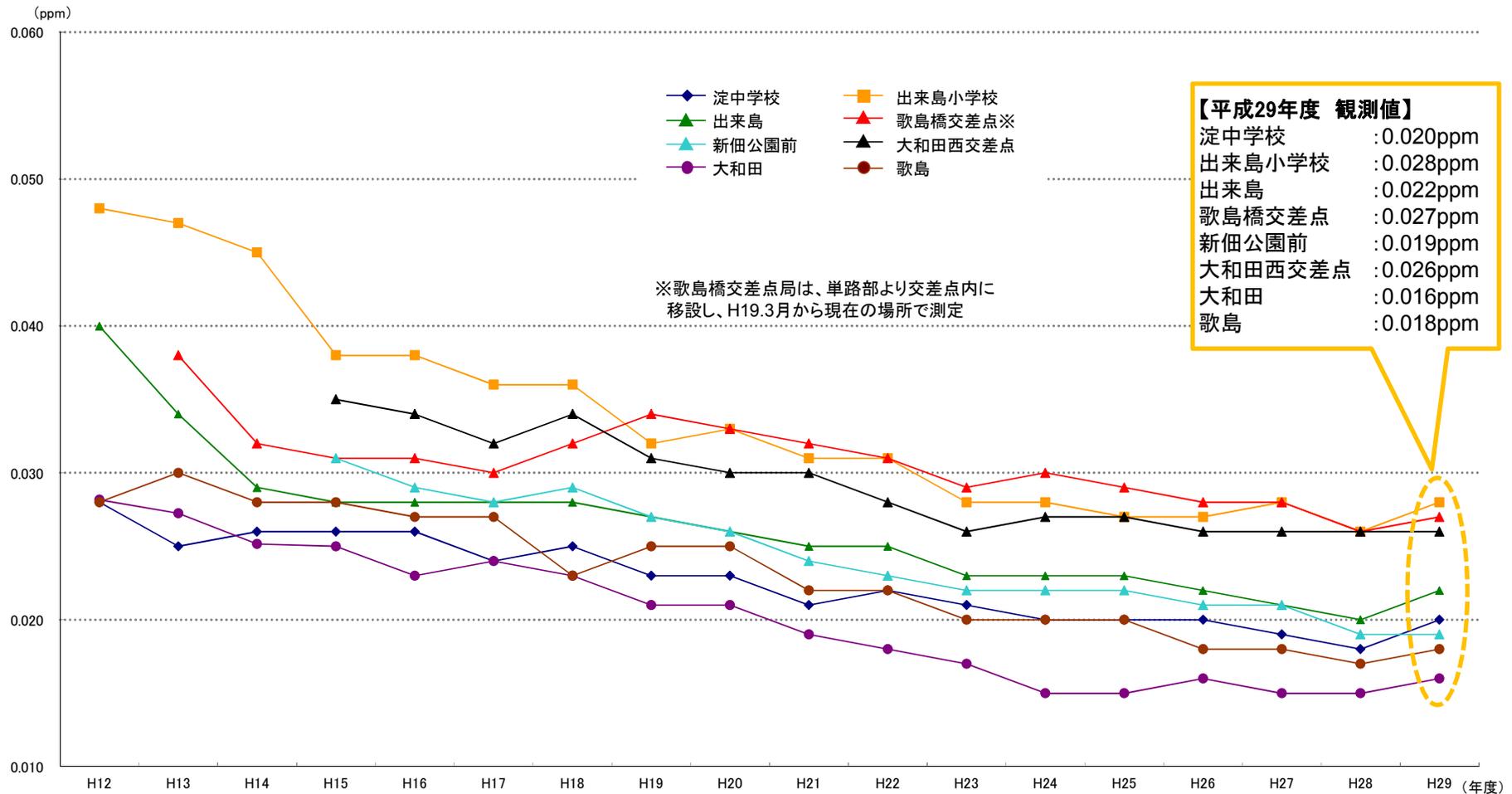
▼西淀川区域の大気質(NO₂)



大阪市西淀川区 大気の状態（二酸化窒素）【参考：年平均値】

・二酸化窒素(NO₂)の年平均値は、6局が昨年度より高くなり、2局は同じであった。
測定開始以降、概ね減少傾向である。

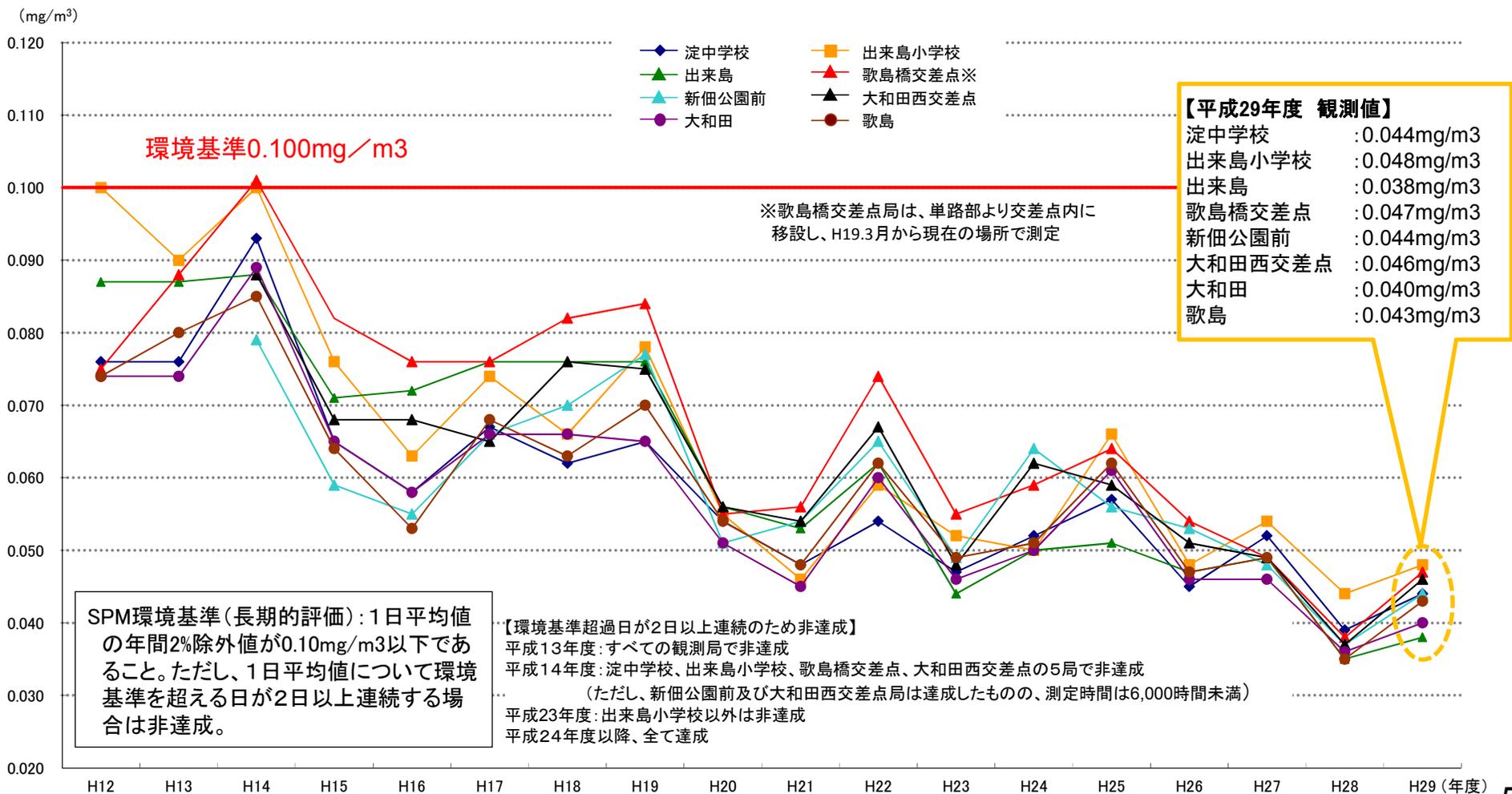
▼国道43号他 二酸化窒素(NO₂) 年平均値の経年変化



大阪市西淀川区 大気の状態（浮遊粒子状物質）

・ 浮遊粒子状物質(SPM)の日平均値の年間2%除外値は、環境基準値以下である。

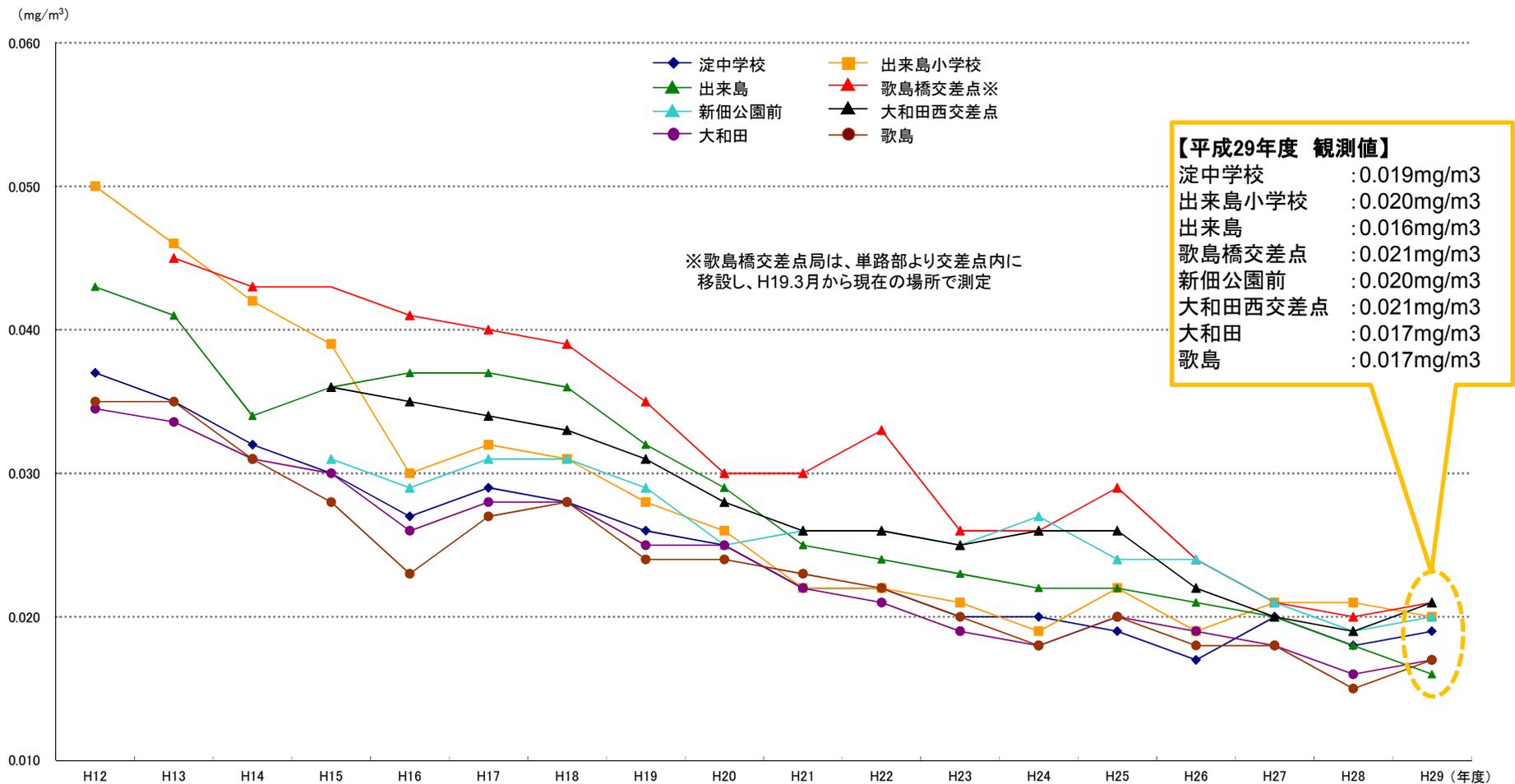
▼国道43号他 浮遊粒子状物質(SPM) 日平均値の年間2%除外値の経年変化



大阪市西淀川区 大気の状態 (浮遊粒子状物質) [参考: 年平均値]

- 浮遊粒子状物質(SPM)の年平均値は、6局が昨年度より高くなり、2局は低くなっている。測定開始以降、概ね減少傾向である。

▼国道43号他 浮遊粒子状物質(SPM) 年平均値の経年変化

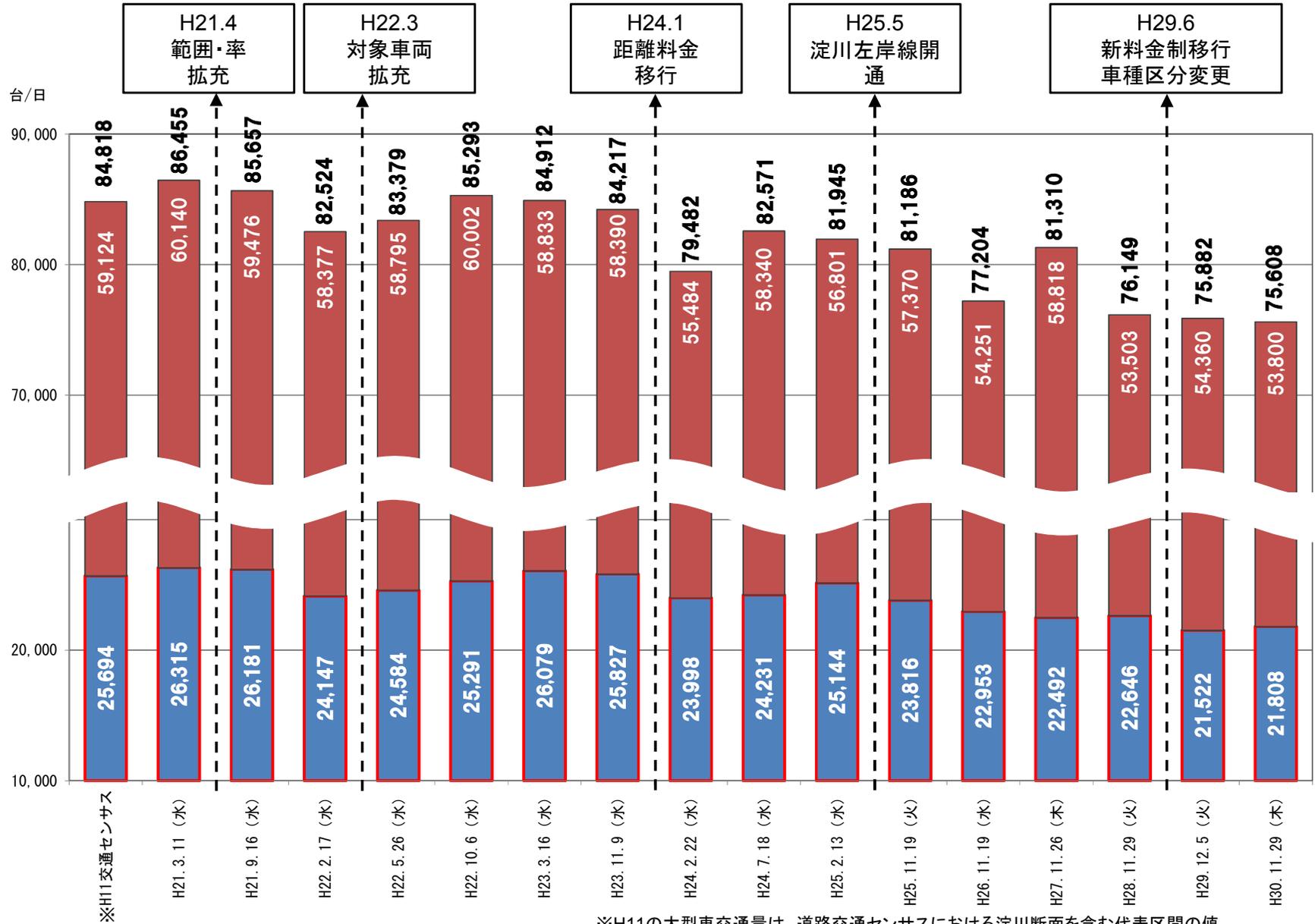


国道43号 大型車交通量の推移

H31.3.20 資料2

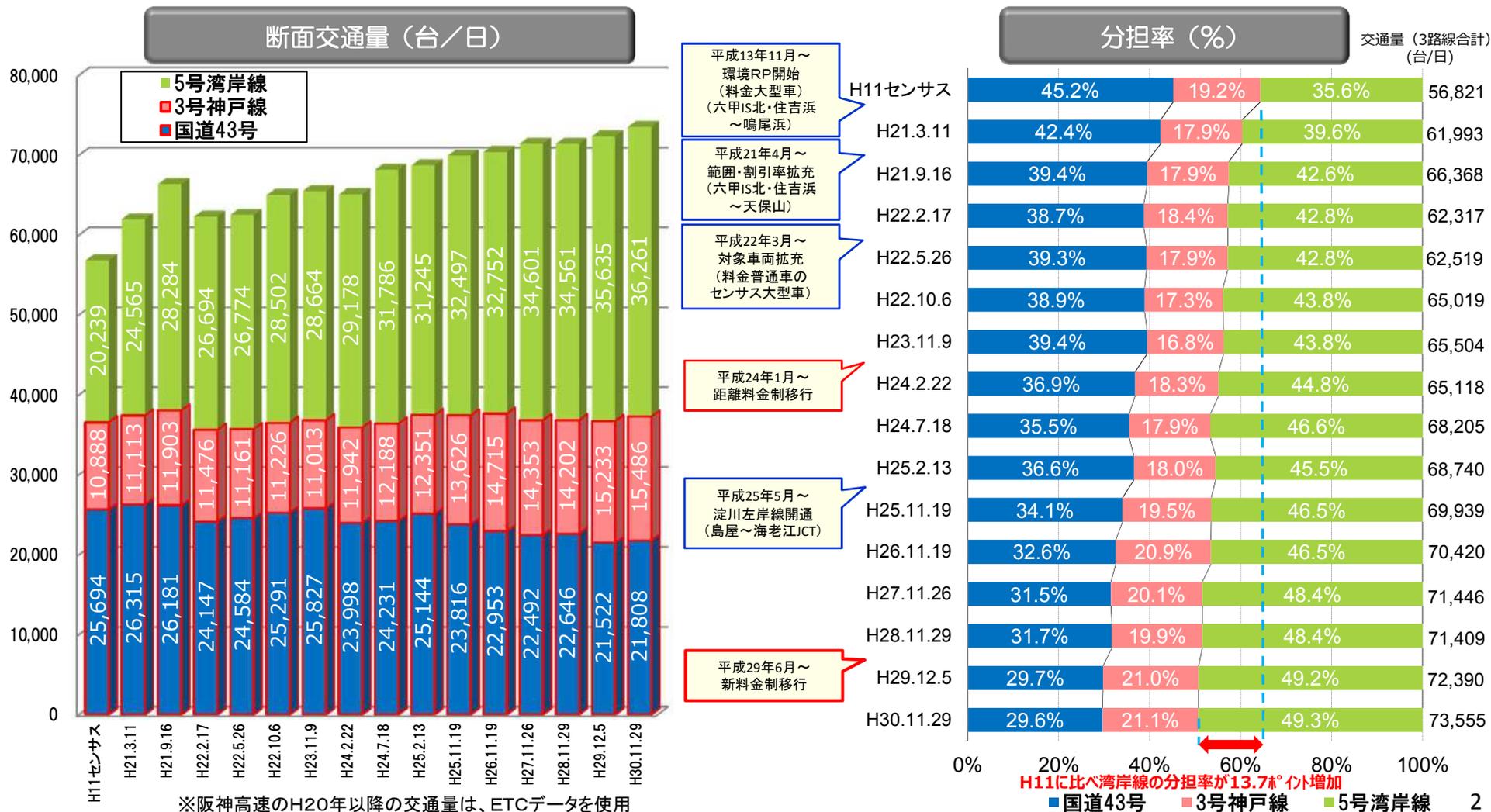
・国道43号の大型車交通量は、平成21年には約26,000台／日だったが、平成26年以降は23,000台／日を下回り、近年減少傾向。

淀川断面



淀川断面のセンサス大型車道路別利用状況

- ・淀川断面における大型車交通量は増加しているものの、各種取り組みにより国道43号の大型車は近年減少傾向。
- ・大型車両分担率は、H13.11の環境ロードプライシング開始以降、範囲や車種の拡充を経て、5号湾岸線が約13.7ポイント増えており、湾岸線利用の大型車は増加傾向。



淀川断面の交通量調査結果(H29・H30比較)(大型車)

